

機動隊、奇襲攻撃、鬼道隊...

怨念の炎は燃えあがる

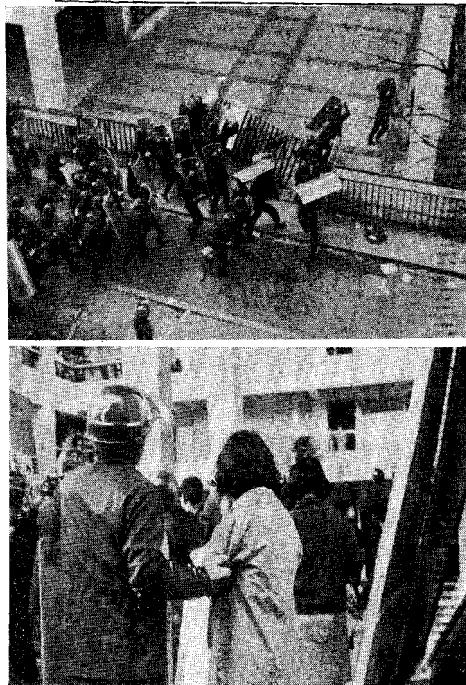
狂気の沙汰と立看

各団体が抗議声明を発表

△機動隊が駆け付けたのは土曜日午後五時すぎ。警視庁公安部本部は学館内の学生は全員検査という方針を……△
△……とたため、同時に学館にて日本デモとは何ら関係のない本学の学生も逮捕された。「不適当事だ。集団公務執行妨害……△
△……事実だ。」といふ機械的職権の話のもとで、コソ摩をあつけ、橋をかさじ学生に襲いかかった機動隊の群……△
△……本日逮捕された学生の数はまだ不明ではないが、被放された者の内、旧学館のサークル室を中心とした事情を聞いて回……△
△……つた。「その時はどうだったか」。そして十四日。これらの暴挙を立ち止めた本学の抗議表明を「タテカン」を通じ……△
△……拾つてみた。

土曜、機動隊が引き上げたのは午後八時過ぎである。その後のうちに早くも抗議文が掲げられた。所は新学館前門。おそらくこれが機動隊の学生不逮捕に抗議を表明した最初のタテカンである。日ク「機動隊の不当弾圧に威重に抗議す」。横約二尺、縦約一・三メートルの幅の小さな看板ではあるが、それでも場所といい、文面といい、多くの人にアピールした。

次點を要求する者がいる。恐怖を強いる者がいる。機動隊、奇襲攻撃、鬼道隊……（中略）
「國家」正義の名を借りて、田代さんとおもふ者、田代さんのお間をわんとする者……人間をわざとする者……抜けらのじょうく放逐する。
——（中略）。實であくそ笑む者がある——裏で自慰を販賣する者……（中略）。お前らは資本家を痛むたがうる者……に過ぎない。人民が、大衆が



【上】は学園に突入する機動隊、【下】は不当逮捕される本学女子学生

市民よ、頼むから腰り
から直喰めてくれ、頼むから

（明大反戦連絡委員会）

開けて十三日の朝、旧学館の人口の壁に画鋲でとある抗議文が一つ。やわらかい調子で呼びかけ、苦情文書の文句が始まっている。

あなたへ――

もはや呼びなれたガッカ

このは公然便所や老齢宿の如く

にズブズブ敵び入り込むように

なった。（中略）

行動としてはアタリマエのコト

なのだ。ただ、ほくたちはその

アタリマエに対するぼくたちの

アタリマエをもって歸い捨て以

外にない。（明大反戦連絡委員会）

同じ日、新学館人口のドアガラス。

監視アッピール

狂気の沙汰か……国家体力

警察機動隊は教習の緊張の

限りを尽して、われわれの（学

生会館）を襲撃し、胸の中は新

兵に遺憾の意を表すと共に、四

月を表した。体育会（運動部）委

員会）は「大学の施設が破壊さ

れた事、多数の学友が逮捕され

たり、強く抗議する」旨の声明文

を発表した。

運動部は教習の緊張の

限りを尽して、われわれの（学

生会館）を襲撃し、胸の中は新

兵に遺憾の意を表すと共に、四

月を表した。

・二種の抗議文を無秩序状態の中で

結びしを終了部員と学生会・学

業部両組織に対し、断固抗議す

利基を取るが、あるいはこれを表
明する。（文部省連絡会）
いずれも船の浮きに浮遊で、一派
に驚きまくりしている。複雑な構造
の文章で、文通に誤り、誤字・あ
り狂った上での間違いで、あつた
と読んだ人は思つたであつう
か。また十四日、各組織・団
体は、せいで、土曜の機動隊
による不法逮捕に対する抗議文を
取り出した。

文連（運動部相談員会）・研連
(加藤副委員長)はともに「不当
逮捕に怒りストで起つ」として表
明し、理研連（名取委員長）は、「この全学ストは学生会の一
般学生・クラスを無視したもので
あり、強く抗議する」旨の声明文
を発表した。体育会（運動部）委
員会は「大学の施設が破壊さ
れた事、多数の学友が逮捕され
たり、強く抗議する」旨の声明文
を発表した。

運動部は教習の緊張の
限りを尽して、われわれの（学
生会館）を襲撃し、胸の中は新
兵に遺憾の意を表すと共に、四
月を表した。体育会（運動部）委
員会は「大学の施設が破壊さ
れた事、多数の学友が逮捕され
たり、強く抗議する」旨の声明文
を発表した。